

新発田市 平成 29 年度 第 11 回定例記者会見

1 日 時 平成 30 年 2 月 9 日 (金) 午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

- 平 昌^{ビョンチャン} 冬季パラリンピック「出来島桃子選手出場壮行会」
- 平 昌^{ビョンチャン} 冬季パラリンピック「出来島桃子選手出場競技のパブリックビューイング」
- オリンピック・日本のトップ選手によるバドミントン講習会
- 株式会社日本テクノの藤塚浜工業団地への進出決定
- 札の辻広場公募イベント「しばたオイスターバー『赤穂の牡蠣』振る舞い」
- 札の辻広場のイベント「佐々木 PR 大作戦 ～佐々木へおいでよプロジェクト～」
- 札の辻広場公募イベント「写真のまちシバタ『まちの記憶』スライド上映会」
- イクネスしばた「体験型謎解きゲーム 美女と野獣を探せ！」
- イクネスしばた「サメ解体ショー&復興雑煮ふるまい」
- 「赤谷どんつき祭り」
- 「赤谷どんつき祭り」見学ツアー
- 月岡温泉「どんど祭り」
- 「しばた まちゼミ」
- 「まちづくりフェスタ」
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に向けたセミナー
- イクネスしばた子育て講演会「家族っていいなあ」&ハッピースマイル上映会
- めざせ 100 彩「健康づくりキャンペーン」
- めざせ 100 彩講演会
- 富樫英樹氏講演会「無限なる挑戦」
- 落谷虹児記念館「蔵出し展」
- 「千光寺千手観音御開帳」
- 「春を呼ぶ公民館まつり」

あいさつ

- たいへんな雪になりました。除雪費の補正予算の専決だけで 5 億 5 千万円です。もう一度寒波が来ると、昨年匹敵するような大雪になるのではないかと考えています。我々にとっては、頭の痛い話です。

- 市の職員もオペレーターの皆さんも非常によくやってくれていると思います。市民の足を守るというのは、我々の大事な務めであるので、たいへんうれしく思っています。
- さて、2月3日の菅谷寺の節分会には、インバウンドの関係で訪れた台湾の旅行社の皆さんに参加していただきました。
- 参加した金華旅行の社長からは、たいへん感動したという言葉と同時に、最低でも1,200人は新発田に送客してくれるという強い言葉をいただき、たいへんうれしく思いました。
- その翌日からは、韓国へ行ってまいりました。「阿賀北ゴルフ三昧プラン」のPRとして、8社の旅行エージェントを回りました。
- 昨年に引き続き、2回目のPRですが、去年はシーズンの途中であったため、秋のシーズンの終わりころに、44の方に約160泊していただきました。
- 今年は、春のシーズンからすぐに対応したいということで、2月に訪問し、たいへん良い感触をつかんできました。
- 韓国の方が一番多く行っているのは、青森県と宮崎県です。当市は、後発ではありますが一生懸命PRしました。
- 新発田には、一つ絶対的に有利な条件があります。空港のすぐ近くにゴルフ場があるということです。空港に着いて、ハーフは回れるということです。
- 新潟空港に着いてすぐにプレーできるというのは、一つのメリットです。月岡温泉に宿泊していただくと、5分以内で行けるゴルフ場が2か所あります。
- 宮崎県、青森県ではこういうプランはできないだろうという強みがありますので、大いにPRしてきました。今年は、期待できていると思っています。
- さて、韓国と言えば、^{ピョンチャン}平昌冬季オリンピックです。本日、開会式があります。
- 新潟県からも、平野歩夢選手をはじめ多くの選手が出場するということですが、私たちにとっては、オリンピックよりもパラリンピックの出来島桃子選手です。

○1 か月後のパラリンピックに大いに期待を持っています。

本日は、そのパラリンピックとオリンピック関連の話題からです。

○最初に、^{ピョンチャン}平昌冬季パラリンピック、出来島桃子選手の「出場壮行会」と「出場競技のパブリックビューイング」についてです。

○報道機関の皆様には、市長室での報告を取材していただきましたが、本市職員の出来島桃子が、クロスカントリースキーとバイアスロン競技で日本代表に選ばれ、4大会連続4回目の出場が決まりました。

○そこで、2月23日（金）に、ヨリネスしばたの「札の辻広場」で、壮行会を開催する運びとなりました。

○当日は、花束や激励のメッセージを記した国旗のほか、ガバメント・クラウドファンディングによる寄付金を贈呈することとしています。

○また、「札の辻ラウンジ」では、3月10日のバイアスロンから3月17日のクロスカントリーまで、出来島選手の出場する競技の生放送に合わせて、パブリックビューイングを開催します。

○スティックバルーンなどの応援グッズを用意します。ぜひ、多くの方に参加していただき、現地に届くような熱い声援をお願いしたいと思います。

○前回のソチ大会では、運営上の問題で順位を落とすという、たいへん残念な結果でした。今大会ではその悔しさを晴らし、ぜひともメダルを持ち帰ってもらいたいと思っています。

○2つ目は、オリンピックや日本のトップ選手によるバドミントンの講習会についてです。

○これは、「スポーツで人づくり・夢づくり事業」の一環として、2月11日（日）に、カルチャーセンターで、市内の指導者や小・中学生、高校生を対象に、練習方法などの技術指導を行うものです。

○当日は、敬和学園大学バドミントン部監督で、バルセロナ・オリンピックで5位に入賞した松浦進二さんと、トナミ運輸バドミントン部のトップ選手2

人を講師に迎える予定です。

- こうした講習会を通じて、トップレベルの技術に触れることで、指導力・競技力の向上につなげるとともに、やがては、当市からオリンピック選手が誕生することを期待しています。

次に、藤塚浜工業団地への企業進出の決定について

- このたび、埼玉県に本社がある株式会社日本テクノとの協議が整い、藤塚浜工業団地への進出が決定しました。
- 同社は、金属の熱処理技術では業界トップクラスのメーカーで、特許技術によって大手自動車メーカーとの直接取引の実績もある、たいへん優良な企業であると聞いています。
- 今回は、新潟市に取引先があること、将来的に新潟東港から製品の輸出を想定していることから進出を決定されました。
- また、工業団地内の空き工場を活用して、工場を新設することとしており、埼玉県、愛知県に次いで3か所目の拠点であると聞いています。
- 今後、当市の更なる産業振興や雇用拡大につながることを期待しています。

次に、札の辻広場のイベントをまとめて紹介します。

- 1つ目は、2月11日（祝）に開催される、公募イベントの第一弾「『赤穂の牡蠣』振る舞い」です。
- これは、2月末まで、市内の飲食店9店舗が、兵庫県赤穂市産の牡蠣を使った特別なメニューを提供する「しばたオイスターバー」の連動企画として行うもので、堀部安兵衛と忠臣蔵の縁から、赤穂市の「かましま水産」から贈られた牡蠣1,000個を蒸し牡蠣にして振る舞うものです。
- 当日は、「しばたオイスターバー」の参加店による料理の提供や、堀部安兵衛バレンタインスイーツの参加店によるチョコレートの販売もあります。

- 奇しくも、2月11日は、堀部安兵衛が高田馬場の決闘で名を挙げた日です。ぜひ、大勢の方に足を運んでいただき、この機会に「赤穂の牡蠣」を味わっていただきたいと思います。
- 2つ目は、「『赤穂の牡蠣』振る舞い」と同日に開催される「佐々木 PR 大作戦 ～佐々木へおいでよプロジェクト～」です。
- これは、佐々木中学校の1年生が今年度の「総合的な学習」の総括として、佐々木地区の魅力を PR しようというものです。
- 当日は、佐々木地区産の米で作った一口塩おにぎり 600 個を振る舞うほか、佐々木中学校周辺の PR マップの配布や、大型モニターによる PR 映像の上映を予定しています。
- ぜひ、多くの方に中学生の頑張りと、佐々木地区の魅力を知っていただきたいと思います。
- 3つ目は、2月24日（土）に開催される公募イベントの第2弾、「写真の町シバタ『まちの記憶』スライド上映会」です。
- 「写真の町シバタ」は、中心商店街の各店舗などに残る古い写真をポスターにして店先に展示し、「まちの記憶」を呼び起こそうという企画です。
- 上映会では、昨年展示したポスターをスライドにして特設スクリーンに上映するほか、実行委員会によるポスターの解説もあります。
- ぜひ、多くの方に懐かしい新発田のまちの姿を楽しんでいただきたいと思います。
- いずれのイベントも、飲食店や学校、市民の有志などが主催で、札の辻広場の活用方法が民間にも徐々に浸透してきていると感じているところです。

次に、イクネスしばたのイベントを2つ紹介します。

- 1つ目は、2月17日（土）に開催される「体験型謎解きゲーム 美女と野獣を探せ!」です。
- これは、閉館後の館内の各所に設置された謎を解きながら、制限時間内にゲ

ームのクリアを目指すもので、イクネスしばたでの開催は初めての試みです。

- 若い世代を中心に、このような体験型の謎解きゲームが、全国的に流行していると聞いています。
- 普段とは雰囲気異なる、閉館後の図書館やこどもセンターで謎解きゲームを大いに楽しんでいただきたいと思います。
- 2つ目は、2月25日（日）に開催される「サメ解体ショー&復興雑煮ふるまい」です。
- これは、イクネスしばたと敬和学園大学の震災ボランティア活動グループが協力して開催するものです。
- 当日は、気仙沼市の職人による、珍しいサメの解体ショーを行うほか、サメの肉を揚げた「サメカツ」のハンバーガーと、「城下町しばた全国雑煮合戦」でも好評だった「復興雑煮」を無料で振る舞います。
- サメの解体を行う方は、敬和学園大学の震災ボランティア活動グループが、気仙沼市での震災支援活動を通じて交流を持ったことご縁で、当市にお越しいただくことになったと聞いています。
- このイベントを通じて、多くの方に学生の復興支援活動を知っていただくきっかけになればと思っています。

次に、新発田の冬恒例の祭りを2つ紹介します。

- 1つ目は、2月17日（土）に開催される「赤谷どんつき祭り」です。
- これは、赤谷地区で700年続く伝統行事で、男衆が神社に集まり、ふんどし姿でもみ合い厄払いを祈願する、熱気あふれる祭りです。
- 現在、見学ツアーの参加者ともみ合い体験の男衆を募集しています。ツアーでは、地区の「さいの神」の見学のほか、絵馬づくり体験などもできます。ぜひ、多くの方に参加していただきたいと思います。
- 2つ目は、2月18日（日）に開催される「月岡温泉 どんど祭り」です。

○下駄を使った競技「下駄リンピック」や、「あがの姫牛^{ひめうし}」を使った「千人鍋^{せんになべ}」の販売など、様々な催しが予定されていますが、何と言ってもこの祭りのハイライトは、「たいまつランナー走行」です。

○上半身裸の男衆が、たいまつを持って温泉街を駆け抜ける様子は、迫力満点です。終点では、たいまつ^{たいまつ}の火が巨大な「祈願井桁^{きがんいげた}」に点火され、まさに雪の中の炎の祭典といった様相です。

○2月17日・18日は、新発田の冬を代表する祭りを、2日続けて楽しんでいただきたいと思います。

このほかの情報としては、NPO 団体などが日ごろの活動の成果を発表する「まちづくりフェスタ」、商店街の店主が講師となって様々な講座を開く「しばた まちゼミ」があるほか、ワーク・ライフ・バランスについて考えるセミナーがあります。

また、イクネスしばたこどもセンターの子育て講座「家族っていいなあ」と「ハッピーマイル上映会」があるほか、健康づくりについて学ぶ「めざせ100彩健康づくりキャンペーン」と「めざせ100彩講演会」があります。

さらに、新発田市自治会連合会の主催で、本丸中学校のバスケットボール部を全国優勝に導いた富樫英樹さんの講演会があるほか、蒨谷虹児記念館の「蔵出し展」、恒例の「千光寺千手観音御開帳」、「春を呼ぶ公民館まつり」があります。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。

定例記者会見質疑応答概要

藤塚浜工業団地への企業進出の決定について

新潟日報 具体的にいつごろ進出するのか。

市長 2月中にはクレーンを入れて工事に入り、3月には操業を開始したいと聞いている。改修しなければならない部分はあるが、元々別な企業が入っていた建物に入ることである。主に、部品を作る装置・機械を作る会社だそうである。特許をいくつか持っているそうである。

新潟日報 調印式はするのか。

市長 民間と民間の関係になるので調印式はない。

新潟日報 従業員はどれくらいいるのか。

市長 埼玉に本社があり、従業員は現在38名。愛知県にも工場があり、トヨタとも取引がある。金属を加工してメーカーに販売するという会社である。おかげさまで、西部工業団地もすべて完売した。藤塚浜工業団地も、1社抜けたところに入っていたということで、ありがたいと思っている。残っている食品団地の2区画は、できれば首都圏辺りから入っていただきたいと思っている。

台湾での地震について

新潟日報 台湾での地震に対して、市として何か対応したか。

市長 台湾で大きく事業をしていて、市の取引を世話してくれた李さんにはメールをした。その方は、台南が主な活動拠点ということで、まったく被害がなかったそうである。市として、何かするということは考えていない。

韓国でのトップセールスについて

新潟日報 「ゴルフプラン」のPRとのことだが、回った8社のうち、具体的にツアーを組んでくれそうなのは何社か。

市長 今回は、主にゴルフツアーを主力商品としているエージェントだったので、ゴルフのことはよく分かっており、相当いい感触を得た。前回送客していただいた会社は、完全に乗り気だった。昨年やってみて、お客様の反応が良かったのではないか。いつからグリーンが使えるのかと尋ねられた。3月20日頃になれば使えるが、このツアー自体は4月1日から解禁とすることとしている。

新潟日報 去年は44人か。

市長 44人で、約160泊である。一週間いた方もいる。最低でも、2～3泊するので、これは大きい。2人組が多いということなので、2人組の料金設定を考えていたが、エージェントは3人組、4人組と様々なバリエーションを作ってほしいと話していた。

新潟日報 複数で来るのは大きい。

市長 その通り。中国では価格を抑えられるが、韓国では金のことは心配しなくてよいとのことだった。韓国の一定の所得のクラスの方が来るというのはよいこと。3日間とも宴会料理では飽きるので、せめて1日は新道に来ていただきたい。若手料理人が「八寸」の取組をやっているが、それらを特別価格で提供するというものも宣伝してきた。

台湾の旅行業関係者の訪問について

新潟日報 意見交換があったと思うが、それを受けて何か取り組もうとすることはあるか。

市長 今までやって来たことを、より丁寧にやるということ。それと、おもてなしである。一流ホテルの人気があるのは、豪華さだけではなく、おもてなしが違うのではないか。外国人にとっては、

それが日本独特のものなのではないか。景観などもいろいろあるが、それよりも人のおもてなしの仕方が人気なのではないか。トップセールスに行くと、口々にそう言われる。その点は、観光協会を通じて、より徹底してもらいたいと思う。DMOでは、阿賀北地域で取り組んでいる。あるいは、山形県にも行ける。東北も含めた周遊にも取り組みたいと思っている。今回の商談では、新発田で2泊してもらうことをセールスポイントとして、「ハブ&スポーク」で、新発田に居ながら福島・山形に行く、戻ってきて新発田に泊まるという提案をして、非常に良い提案だとの評価を得た。また、2泊するのであれば、1泊は旅館の夕食ではなく、「八寸」を食べていただく。これも良い提案だということで、4月から注文をいただいている。

市長選挙について

新潟日報 選挙の日程が発表されたが、現在、どう考えているか。

市長 昨日、後援会の役員と話す機会があり、今後のスケジュールを話し合った。その中で、後援会からは、前は6月議会で質問に答える形で出馬表明したが、今回は2月議会の代表質問で意思表示してはどうかとの要請があったので、その方向で考えている。

新潟日報 それまでに決断するということか。

市長 その通り。